

授業科目(ナンバリング)	精神保健福祉援助実習指導ⅡA (DB420)			担当教員	高島恭子・安藤佳珠子 金澤由佳・村上広美		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	4年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ ラーニング の類型
精神保健福祉援助実習指導ⅡAでは精神保健福祉援助実習指導ⅡBとともに、ディプロマポリシーの到達に向け、実習、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワークなどを通して次のことを達成することをねらいとする。①精神保健福祉援助実習の意義について理解する、②精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する、③精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得する、④具体的な体験や援助活動を、専門的知識及び技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を滋養する。							④⑥⑦⑩⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	精神障害者のおかれている現状を理解し、生活実態や生活課題を説明できる。				授業や帰校日での発表と課題レポート	20%	
情報収集、分析力	実習で学ぶ目的から目標と課題を考え、実習計画書を作成できる。精神保健福祉士としての自己の資質を知り、それを表現できる。				課題レポート(実習計画書) 課題レポート(個人プロフィール) 授業や体験実習への取り組み	20% 10% 10%	
コミュニケーション力	精神保健福祉援助実習で学ぶ目的、意義を説明できる。自分の実習計画書を説明できる。				授業や帰校日での発表と課題レポート)	10%	
協働・課題解決力	実習生にふさわしい態度・行動をとることができる。				授業や体験学習への取り組み	20%	
多様性理解力	精神障害者のおかれている現状を理解し、生活実態や生活課題を説明できる。				授業や帰校日での発表と課題レポート	10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
授業や体験実習への取り組みは、目的意識を持って意欲的に、実習機関や実習で関わる方々の尊厳を尊重しながら取り組むことができたか、その取り組みを事実と感想、考察の区別をしながら論理的に説明できるかを評価する。授業や帰校日での発表と課題レポートでは、自分の考えを相手にわかりやすく表現できたかを評価する。ポートフォリオ等を通して指示する課題レポート(個人プロフィール、個人情報に関する誓約書、実習計画書、体験学習報告書等)は必ず期限内に提出しなければならない。また、課題のフィードバックは授業内に行うものとする。							
授業の概要							
この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。実習においてより深く、精神保健福祉援助に関する知識と技術について具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術等を体得することができるよう個別指導及び集団指導を行う。実習の動機、目的、実習課題を明確にする。1日間の体験実習を行い、精神科医療機関等の具体的な状況を理解する。体験実習とその振り返りをもとに実習計画書を作成し事前学習を行う。							
教科書・参考書							
教科書：日本精神保健福祉士養成校協会編『精神保健福祉援助実習指導・実習(第2版)』中央法規出版、2015年。 参考書：特に指定しない 指定図書：『精神保健医療福祉白書2018/2019』中央法規出版、2016年。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
報告、連絡、相談を迅速に行うこと。実習では様々な立場のたくさんの方々と出会うことになります。自分自身をしっかり見つめながら、真摯に、誠実に、謙虚に、そして積極的に取り組んで下さい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	実習の意義、目的、スケジュールの確認。実習で学びたいことを確認する。個人プロフィール作成を始める。(全教員)	スケジュールを確認する 実習を行う機関について調べる
2	実習機関・社会資源の理解	実習機関と社会資源について理解を深める。調べた実習先機関についてプレゼンテーションし、実習の動機、目的、実習課題、体験実習の目的を明確化する。(高島・村上)	個人プロフィール作成
3	個人プロフィール作成	個人プロフィールを作成する。個人情報の取り扱いについて理解を深める。倫理綱領を確認する。(高島・村上)	精神疾患について調べる
4	精神疾患についての理解	個人情報に関する誓約書を作成する。(要印鑑) 調べた精神疾患についてプレゼンテーションし、ディスカッションを通して精神障害について理解を深める。(高島・村上・金澤)	実習に関わる法制度について調べる
5	法制度・個人情報の取り扱いについての理解	調べた法制度についてプレゼンテーションし、ディスカッションを通して理解を深める。実習の心構え(行うべきこと、行ってはいけないこと)を確認する。体験実習の準備をする。(高島・村上・金澤)	個人情報の取り扱いについて確認する
6	体験学習	実習機関において、1日体験実習を行う。(高島・村上)	体験実習での学びを整理し、体験実習報告書を作成する
7	体験学習の振り返り	1日体験実習を振り返り、夏季の実習の動機、目的を明確化する。事前学習すべきことを整理する。(高島・村上)	体験学習振り返り、実習計画書を作成する
8	実習計画書作成 実習場面の理解	実習計画書を作成する。実習場面で起こりうる場面(「実習あるある」)を出しあい、ロールプレイを行う。(高島・安藤・村上)	実習計画書を作成する
9	実習計画書作成 実習場面の理解	実習計画書を作成する。実習場面で起こりうる場面(「実習あるある」)についてのロールプレイを行う。(高島・安藤・村上)	実習計画書を作成する 実習指導者から指導を受ける
10	実習計画書発表	作成した実習計画書をプレゼンテーションする。(高島・村上)	実習計画書を作成する
11	実習計画書完成	実習計画書を完成する。(高島・村上)	実習計画書を作成する
12	事前学習①	心理療法の体験を通して、自己覚知を深め、実習に向けての自身の課題を明確にする。(高島・安藤・村上)	実習前の課題を整理し、調べ学習する
13	事前学習②	実習計画書で「事前学習」となっているものを調べてプレゼンテーションし、ディスカッションを通して理解を深める。(高島・村上)	実習への心構えを確認する
14	事前学習③	実習要綱、実習ノートの書き方、個人情報の取り扱いについて確認する。(高島・村上)	実習要綱、倫理要綱を確認する
15	まとめ	実習上の留意点、巡回、帰校日、お礼状、実習報告書、実習後スケジュールの確認を行う。(全教員)	実習の留意点を確認する